

報 塾 しゅうめい

第35号

2015 vol.4

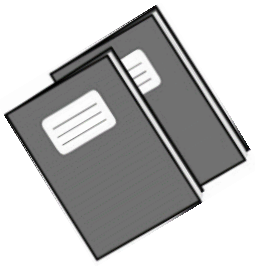
平成27年4月10日
発行 塾長 上谷 恭範
〒111-0052
台東区柳橋1-26-3
TEL 03(3862)9218

新学年スタートダッシュを

塾長 上谷 恭範

ご進学・ご進級おめでとうございます。校門の桜が満面の笑みで皆さんを迎えてくれたことでしょう。おめでとございます。しかし喜びに浸っているだけではいけません。「先んずれば人を制す」ということわざがあります。この由来は、中国の秦の時代、反乱が起きた時、殷通（いんとう）という人が、自分の部下に「先んずれば即ち人を制し、後るれば即ち人の制する所となる。」（人より先に行動を起こせば人の先頭に立って指示を出せるが、人の後から行動を起こせば人に指示され支配されることになる。）と言ったことが中国の「史記」という書物に出ています。

来年の受験生であれば、人より先に受験勉強に取り組むことであり、新中学生であれば、初めて学ぶ英語を自分からどんどん先に進んで勉強していくことが「人を制す」とことになるのではないのでしょうか。中学生になると中間試験や期末試験といった定期テストのみでなく、さまざまな小テストが実施されます。したがって日々勉強の習慣をつけ、復習のみでなく他人より先の単元へ先取りした学習取り組みをしていけば、ゆとりある楽しい中学生生活ができることでしょう。小学生でもしっかりと基礎学力をつけていけば、勉強が楽しくなることでしょう。



講演会レポート

「国際化の時代だからこそ 英語力よりも国語力を!!」

「国語を好きになるために」

上谷 修一郎

3月21日土曜日の午前10時から浅草橋区民館にて、日本経済新聞社の社会部で現在編集委員を務められている木村彰先生をお招きして右記の演題で講演会を開催致しました。

この講演会は今年度で創立50周年を迎える修明学園の記念事業の一つとして行われたものです。それは今後の修明学園の教育方針の一つを社会に発信すると共にこれまでお世話になってきた地域の皆様を初めとする修明学園を支えていただいた皆様への感謝の意を表するものであるといえます。その意味でもその第一弾として木村先生の講演はその趣旨に叶ったものであり、そして又その内容の点からも大変素晴らしいものでした。

木村先生の講演の主張は大きく分けて二つありました。一つは日本語が、その豊富な語彙数に特徴づけられるように、歴史的に形成されていく過程でその他の言語と比べてみると非常に独自の言語体系を持つようになったということ。もう一つは小学校からの早期の英語教育の導入が議論されるように、国際化が急速に進展する現代において英語力の必要性ばかりが強く訴えられる中で、敢えて日本語力＝国語力を向上させていくことが今後はますます重要になるといふことです。

日本人にとっては過度に発音にナイーブになるよりも内容が伴った大人の英語を話せるようになることの方がより重要であり、そのためにも日本語という独自の言語体系を自分の強みとして生かしていくことが必要であると木村先生は結論付けられていました。

私達がこの春から「ことばの学校」というこれまでにない新しい講座を始めることにしたのも、まさに木村先生が講演の中でおっしゃられていたような国語力を高める機会を学習塾として子供達のために提供しなければならぬという現代社会の状況を勘案したからに他なりません。

木村先生の講演を踏まえたうえで今後の日本の教育のあり方について考えていきたいと社員一同思っております。そのためにも今後とも皆様のご指導及びご支援の程、宜しくお願い致します。

また50周年の記念事業は今後第二弾、第三弾と開催していきますのでどうか引き続きご参加いただけますようお願い申し上げます。

教員

教職員紹介

平成27年度の修明塾各教室の専任の指導陣をご紹介します。

- 上谷 良憲 (学園長 浅草橋教室 担当)
- 金子 義一 (浅草橋教室 担当)
- 片桐 芳郎 (浅草橋教室 担当)
- 脇田 良子 (浅草橋・番町・幼児英才教室 担当)
- 柴田 圭 (高砂教室 担当)
- 上谷 修一郎 (浅草橋教室・ことばの学校 担当)
- 神保 克明 (番町・ロボット教室 担当)
- 御厨 裕貴 (浅草橋教室 担当)
- 佐藤 昌央 (ロボット教室 担当)
- 寺川 豊 (浅草橋教室 担当)
- 林 眞海子 (幼児英才教室 担当)
- 戸塚 和夫 (高砂教室 担当)
- 田岸 フミ (浅草橋・高砂教室 担当)
- 齋藤 衛 (浅草橋・高砂教室・ことばの学校 担当)
- 竹中 正始 (浅草橋・高砂教室 担当)

宜しくお願い申し上げます。

警備

修明セキュリティ

小林 龍介

警備部門はまもなく20年目を迎えます。当初は上谷学園長をはじめ、塾の先生達が試行錯誤で立ち上げ、軌道に乗った警備部門ですが、今は諸先輩方の力を借りながら35歳の私が本部長として、10代から30代の若い社員の力を結集して文字通り東奔西走しております。

最近の新たな取り組みとしては、先生方に蛍光色のジャンパーを用意し、塾生の安心・安全の為にパトロールをしてもらっております。

塾と警備の相乗効果により一層安心・安全な塾づくりに貢献していきたいと思っております。

浅草橋

浅草橋教室

片桐 芳郎

「ハイ！先生、できましたー！生徒の元気な・笑顔あふれるここ浅草橋教室は、半世紀に亘る修明学園の中核教室であり、原点です。これまで当教室で学んだ本当に多くの塾生の皆さんが、第一志望校・一流校に挑戦し、見事合格という栄冠を勝ち取ってまいりました。その過程で彼らはまた人生にとって大切な多くのことを学んでくれました。

今年度、私達はさらに教師力をアップし最強の教師陣で、生徒・ご父母の皆様のかなるご要望にも全力でお応えしてまいります。

来たれ、生徒諸君！ここ修明塾・浅草橋教室で共に学び、共に闘い、そして、来春には共に栄冠を勝ち取りましょう！

高砂

高砂教室

柴田 圭

修明塾高砂教室は、新年度も「教育を通じた地域社会への貢献」という方針の下に、地域の基礎学力向上を目指し、葛飾区の小・中学校に通う塾生を中心に指導をしております。

クラス1番・学年トップ10を理念とする「ドリームスクール」の成果として、2月の学年末テストで、ついに念願の「学年1位」となった塾生が誕生しました。

また、私は平成22年度から台東区内の公立中学校で、週1回の学習指導も担当しておりますので、実際の学校教育現場での経験を塾内での指導に上手く活用したいと考えております。

よろしくお願ひ致します。

番町

番町教室

神保 克明

修明塾番町教室は、半蔵門駅から徒歩1分のビルの一室で運営しております。麹町小・九段小・番町小・富士見小それぞれに近く公立小・中学校へ通うお子様と私立の学校に通うお子様、小学校1年生から高校生までに地域に根付いた手厚い教育を行っております。

受験科では毎年九段中等教育学校を受ける生徒がおり、通常の受験コースの授業に加え小6の秋から作文、資料の読み取り問題の学習を行っております。中学入学後の学習のサポートもしており、長い目で万全の体制をとっております。

修明塾伝統の少人数での手厚い教育をモットーに、まずしっかりと準備をし、集中して勉強する姿勢をとるところからきっちり教育します。忘れ物厳禁、授業時間中の席立や私語の一切禁止といった、当たり前なことを徹底してまいります。勉強面では、生徒一人一人に対し、しっかりと話し合いながら苦手な単元をその都度きちんと説明し、生徒が克服してから先へ進む方式を取っております。

この度、大型のホワイトボードを導入し、一人一人により効果的に授業を進められるようになりました。また、自習用の席も完備し、勉強時間不足の生徒の要求に応えられるように致しました。時間・料金に至るまで納得いくスタイルで、成績向上・上位校合格へ導きます。

幼児

幼児英才教室

脇田 良子

ご入学、ご進級おめでとうございます。

新学期が始まったばかりですが、幼児教室の年長さんたちにとっては、受験まであと半年という時期、ご両親・ご家族にとつては、志望校の選択、願書等の書類の準備など……。あつという間に過ぎてしまいう月日。新年度を迎える四月は幼児教室にとって合格に向けての大切な時期の始まりです。

少子化の時代とはいえ、このような時代だからこそ、我が子より良い環境の学校へ入学させたいというご両親・ご家族は多く、有名校・伝統校への合格キップを手にする事は容易くないのが現状です。

幼児教室では、こどもたちに、努力したときの喜び・学ぶことの大切さを教え、合格するために必要な知識を習得させ、考える力・がんばる力（忍耐力）を養い、聞く力・話す力をつけ合格できる力を培ってまいります。

私達教師は全員合格に向け、全力でがんばります。

言葉

ことばの学校

上谷 修一郎

4月になり学校も新年度を迎えましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。2月以来ご案内してまいりました新講座「ことばの学校」もいよいよ本格的に始動いたします。

週一回一時間の受講で、200冊にも渡る受験によく出題される名著の中から一年間に30〜40冊を読破していくこととなります。

一年かけて本講座にじっくり取り組めば今よりもずっと早いスピードで内容をきちんと理解しながら、より難しい本を楽しんで読むことができるようになります。一年後の子供達の成長を楽しみにしていきましょう。

また、ことばの学校の履修生を対象とした無料のフォロー講座や、こちらは有料になりますが読書感想文を上手に書くための講座なども準備しております。講座の内容が決まり次第ご連絡いたしますので今しばらくお待ちください。

この講座は受講生の皆様と一緒に作って作り上げていくものだと考えております。ご要望等ございましたらお気軽にご連絡いただけますようお願い申し上げます。

ロボ

ロボット教室

神保 克明

ロボット教室は、月2回90分の授業で、ブロックを使い毎月異なるロボットを作り上げる講座になっております。基本的に1回目の授業で組み立て、2回目の授業で観察し、仕組みを理解した後、改造していくという流れになっていきます。

実際、体験授業などの中で、子供たちはお母さま方が驚くほどの集中力を発揮しています。

ロボット教室では、集中力のみならず、整理整頓する力から達成感、想像力、立体感覚等を養い、理科への興味関心を深めていくことを目指しています。

さらに、最近の教育現場で重要視されている、考える力も十分養えます。考える力とは、類比（似ている）、対比（違う）、因果（原因・結果）の3つと言われます。ロボット教室でも、テキストと作っているロボットを見比べることで、類比と対比を行い、失敗や改造の過程で（何でうまくいかないかや原因を探り、結果につなげる）因果を探ることで、考える力を養い、子供たちにはさまざまな場面で発揮してもらいたいです。

各教室、随時体験授業を行っております。また、今後プログラミングコースを含め拡充していく予定です。今後とも、よろしくお願ひ致します。